

## 巻頭言 — 「かけがえのない心身をゆだねられる、看護」を目指して—

2023年4月より、前任の磯川悦子看護部長の後任として、看護部長に就任いたしました小笠原京子と申します。

私は、1988年4月に昭和大学病院に入職いたしました。その後、2013年に「江東豊洲病院開設準備室」に配属となり、昭和大学江東豊洲病院の開設準備にかかわってまいりました。その当時、新しい病院づくりの手本としていたのが2001年に開院した、ここ昭和大学横浜市北部病院でした。新病院開院後も、「目指せ!! 横浜市北部病院」を目標に毎日頑張っておりますので、手本としていたこの病院に赴任することは私にとって大変光栄なことと感じております。この病院から学んだことを基に、今度は私が持てる力の限り、横浜市北部病院の看護を創造していきたいと存じます。社会がこれまで以上に激しく変化し先の見通せないこれからの時代に、人々のいのち・暮らし・尊厳を守り支える看護師の活動はますます重要になってきます。対象となる人々の多様なニーズに対応して看護を創造・提供することができる看護師を育成していくことが看護管理者である、私の使命であると考えています。

昭和大学横浜市北部病院の理念には、「かけがえのない心身をゆだねられることは、本院への深い信頼と期待のあらわれである。本院はこの信頼や期待に応えることをもって目標とし、患者さんの権利や尊厳を守り、患者さんとともにチーム医療を実践する」と示されています。私たち、看護職が目指す看護のあるべき姿もまた、「かけがえのない心身をゆだねられる、看護」であるといえます。かけがえのないとは、ほかに代わりになるものがなくて、この上なく大切なことを表す言葉です。私たちは、唯一無二である心身をゆだねなければならない患者さん一人ひとりと向き合い、定型化された看護の方法ではなく、対象の痛みや苦しみに心からこたえられる看護を提供することを目指してまいります。

看護職として人々の健康に貢献するためには、生涯にわたり学び、能力の開発・維持・向上に取り組む責任があります。

それと同時に、人々のニーズに応える看護師の活躍にも、①働く場がますます多様になる、②複雑かつ多様化する健康課題への対応が必要となる、③生涯における長い期間働くようになる、などの変化が起きています。例えば、基礎教育を終え20代で看護師として働き始めた人であれば、看護師として活躍する期間は40年以上にわたり、その中では様々な岐路があり、変化があるでしょう。そのような看護師としての人生を、より自分らしく活躍し続けることを支えるのが、生涯学習です。



＜看護部＞  
小笠原 京子 部長

- P1. 【巻頭言】 — 「かけがえのない心身をゆだねられる、看護」を目指して—
  - P2~4. クオリティ・インディケーター (QI) について
  - P5. 患者さんからのご意見・ご要望
  - P6. 【お知らせ】 中央棟の外壁修繕工事を行っています
- 【編集後記】



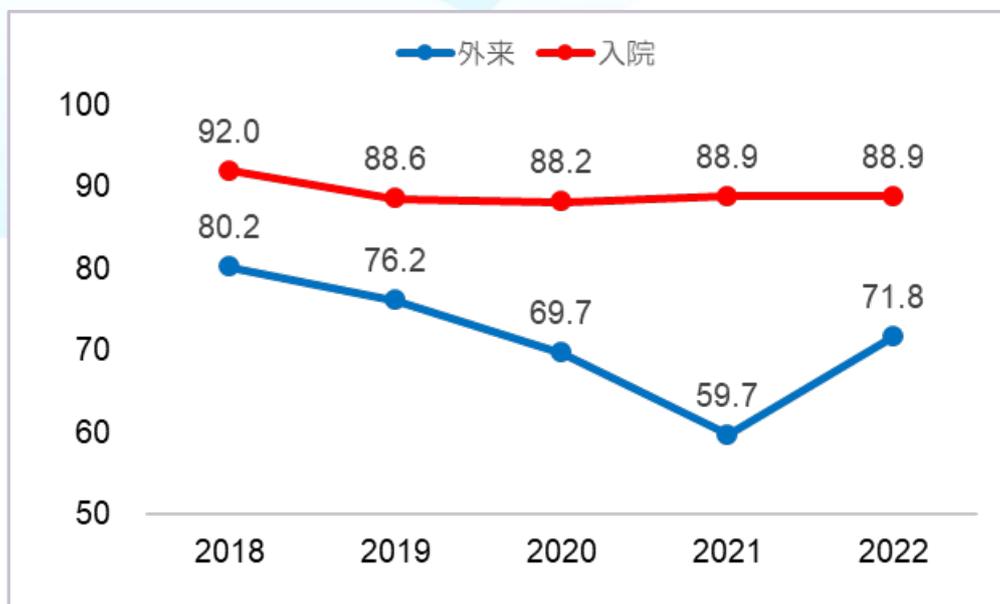
# クオリティ・インディケーター(QI)について

(クオリティ・インディケーター委員会 緒方浩頭)

皆様は北部病院をどのように思い、感じているでしょうか？「信頼出来る」、「頼り甲斐がある」、「職員が親切」などの良い評価を頂戴できると嬉しいのですが、一方で「予約が取りにくい」、「診療の待ち時間が長い」などの問題点も指摘して頂いており、改善を図って参りたいと考えております。

医療機関の評価法には様々なものがありますが、クオリティ・インディケーター(QI)という指標により、「医療の質」を評価するアプローチがあります。QIは、科学的な根拠に基づいた医療(EBM: Evidence-based Medicine)の実践度合いを測定する指標です。2010年度から厚生労働省は「医療の質の評価・公表等推進事業」を開始し、多くの病院がQI測定し、公開しています。昭和大学の各附属病院でも、様々なQIを測定、公表しています。各QIの測定法は統一されているために、医療機関間で比較することが出来ます。QIを測定する意義は、数値を単純に比較するだけでなく、医療機関が現状、問題点を客観的に把握、評価し、更なる医療の質を向上させる対策、改善に結びつけることにあります。

## 1. 患者満足度調査(外来・入院)：満足+非常に満足/回答数(%)

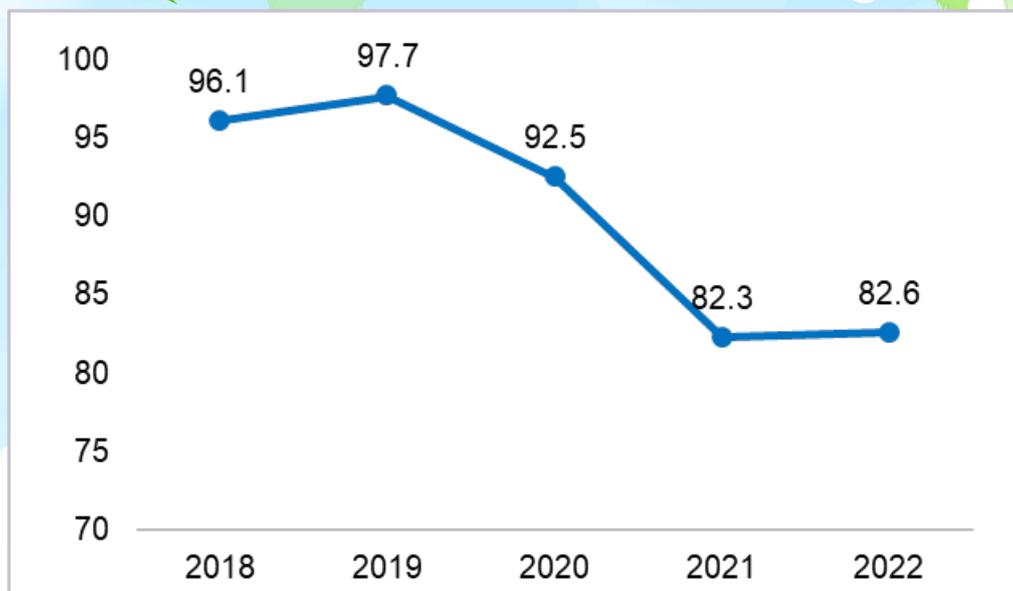


外来での満足度は近年低下傾向でした。2022年度には少し回復していますが、この低下傾向については患者数の増加、コロナ禍に感染対策等のために、診療の待ち時間が長くなったことが最大の要因であると考えており、現在対策を検討しております。入院患者さんの満足度は90%程度で推移していますが、更なる満足度の向上を目指して、ご指摘頂いた課題について改善していきます。

# クオリティ・インディケーター(QI)について

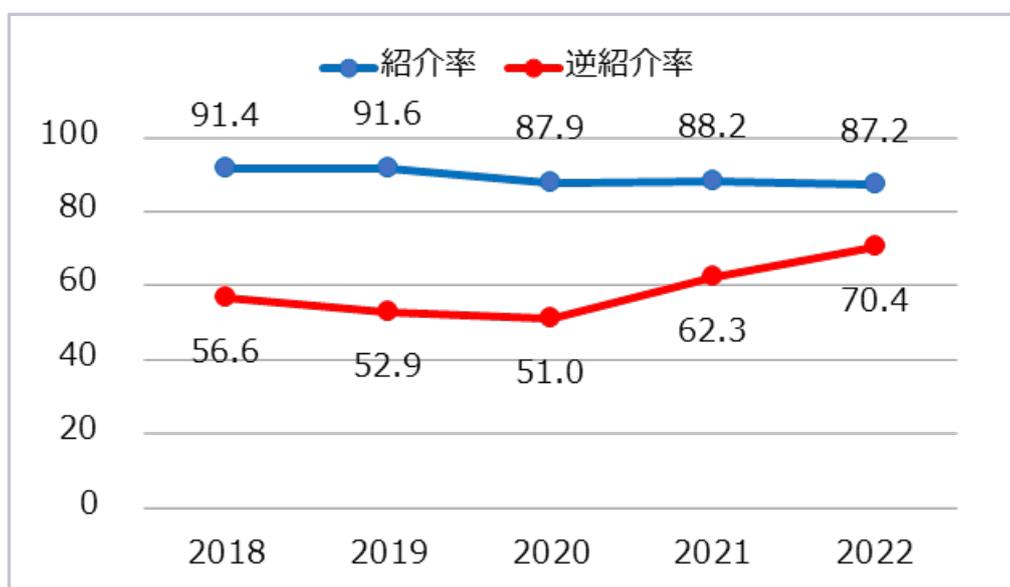
(クオリティ・インディケーター委員会 緒方浩頭)

## 2. 救急車・ホットライン応需率：救急車来院数/救急要請数 (%)



当院は地域中核病院であり、救急応需率 100%を目指しておりますが、コロナ禍では、感染対策のために救急外来の診察室、処置室の使用に制限が必要となり、また感染拡大期には入院診療も制限せざる得ない期間があったために80%前半まで低下しました。引き続き、最大限の感染対策を行いつつ、1人でも多くの救急患者さんを受け入れることが出来るように様々な工夫、対策を実施していきます。

## 3. 紹介率：紹介患者数+救急患者数/初診患者数 (%)・逆紹介率：逆紹介患者数/初診+再診患者数 (%)

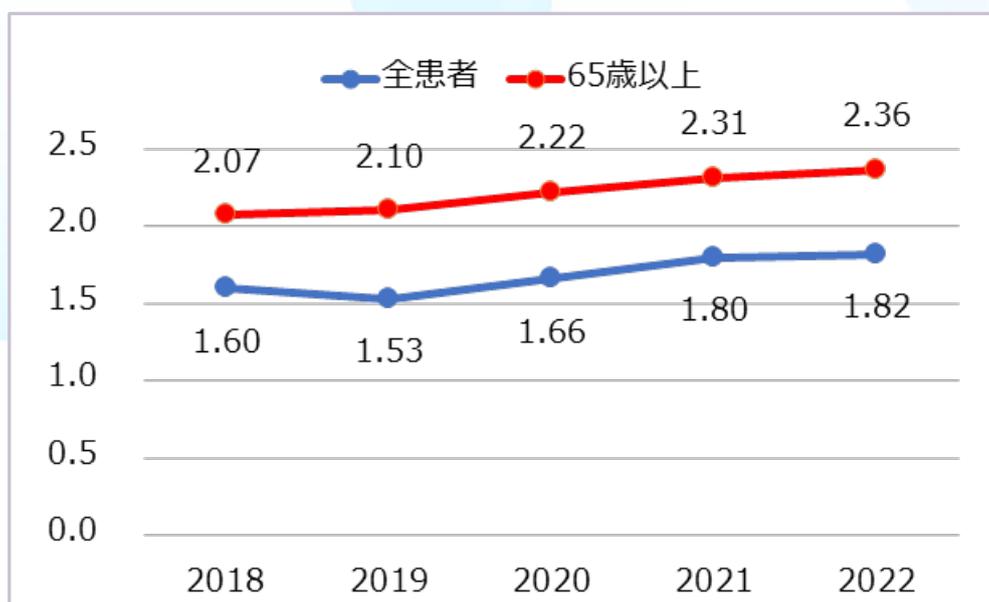


# クオリティ・インディケーター(QI)について

(クオリティ・インディケーター委員会 緒方浩顕)

当院は高度な医療を提供する急性期医療機関であり、慢性期で状態の安定した患者さんは地域の医療機関と協力して診療を分担して行う病診連携を推進しております。初診患者全体に対する他の医療機関から紹介された患者さん及び救急車で来院された患者の割合である紹介率は、横ばいかやや低下傾向を示しております。この原因の1つとして、近年、分母である全初診患者数が大幅に増加していることが挙げられます。外来患者数が増加すると診療待ち時間の増加、診療等への悪影響も予想されます。地域の医療機関との連携を強化し、逆紹介（当院から地域への医療機関への紹介）を増加させる努力を行っております。逆紹介率は上昇傾向であり、今後更なる逆紹介患者数の増加を目指しております。地域医療機関と当院が連携して1人1人の患者さんに適切な医療を提供する「2人主治医制」も併せて推進していきます。

## 4. 入院患者の転倒・転落発生率：入院患者の転倒・転落件数/入院延べ患者数 (1000人当たりの発生件数)



入院患者 1000 人当たりの転倒、ベッドからの転落の発生率の推移です。全患者、65 歳以上の患者のどちらも日本病院会の平均値よりも低い数値ですが、入院患者さんの高齢化に伴い徐々に上昇傾向となっています。当院では患者さんの安全確保のために様々な対策を検討、実施し、転倒・転落数ゼロを目指します。

今回は、クオリティ・インディケーターについてご紹介させて頂き、その一部を解説しました。今後、定期的に様々なクオリティ・インディケーターを紹介、解説していきたいと思います。この数字から、当院の「医療の質」、その向上に向けた努力を知って頂ければ幸いです。

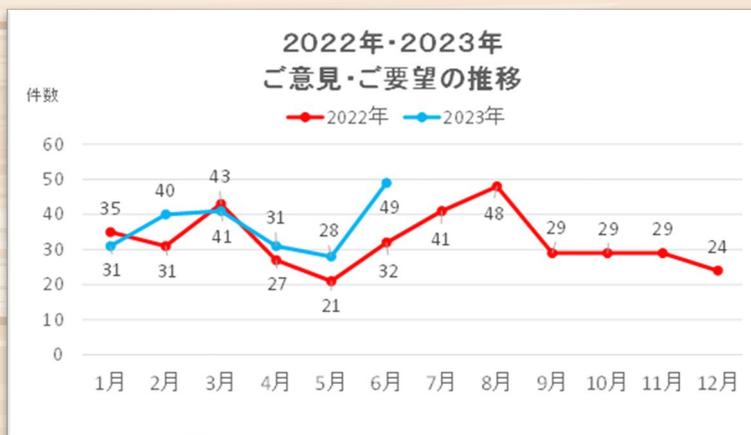
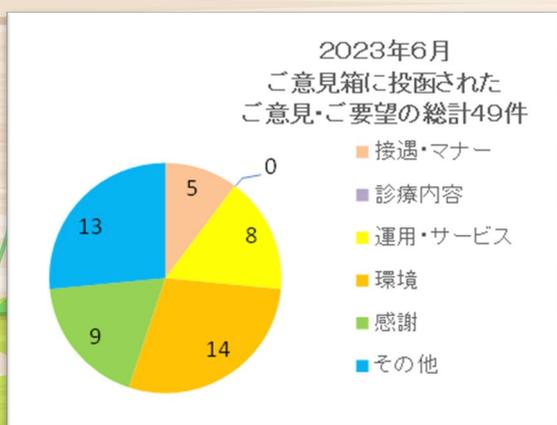
# 患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんより、ご意見箱にいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に、改善策を掲載させていただきました。

掲載されていない内容についても別途対応しております。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
食事・栄養担当の方々へ。 給食の牛乳を、豆乳に変えられたらいいなと思っています。	この度は、給食についての説明が不足し申し訳ございませんでした。 通常食の給食が提供されている患者さんは、牛乳から豆乳への変更が可能な場合がございます。ご希望される場合は、お手数ですが病棟スタッフにご相談くださいますようお願いいたします。 貴重なご意見ありがとうございました。 (回答部署：栄養科)
ホームの人に迎えに来てもらうときに、車をどこにとめればいいのか、いつも困っている。 わかりやすい案内板をたてるべき。	ご意見ありがとうございます。 短時間の乗降でしたら、中央棟1階西口、または中央棟地下1階南口にて行っていただくようお願いいたします。 以上、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。 (回答部署：管理課)
受付票などに、窓口の番号だけでなく階数も書いてほしい。	この度はご不便をおかけし申し訳ございません。 現在、受付票に階数を表示するよう改修を予定しております。この度いただきましたご意見も参考に改善を進めてまいります。 貴重なご意見ありがとうございました。 (回答部署：医事外来課)



## 【お知らせ】 中央棟の外壁修繕工事を行っています



現在、中央棟の外壁修繕工事を行っています。施行箇所は、左の画像の着色部分です。

工事の期間、交通規制や施工音、においなど、皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただけますと幸いです。

開院から22年を迎え、装いを新たにす本院を今後ともよろしく願いたします。

施工場所：北面（都筑中央公園側）

西面（西棟側）、屋上

施工日時：2023年6月9日～2024年3月25日（予定）

8:00～17:00

※土曜日・祝日も作業あり（日曜日は作業なし）

注意事項：①期間中は騒音、振動の発生する場合がございます。

②工事期間中は、施工面に足場を設置します。

③天候により、工期が延長する場合がございます。



## 編集後記

暑い日が続いていますが、皆さんはどのようにお過ごしでしょうか。コロナ禍だった昨年に比べると、多くのイベントで夏バテや疲労の蓄積を感じる方も多いのではないのでしょうか。

8月には健康に関する記念日が多くあります。8月4日は「栄養（84）の日」、8月10日は「健康ハート（810）の日」、8月31日は「野菜（831）の日」だそうです。さらに、ドレッシングの日というのもあります。ドレッシングは野菜（831）にかける「 $8 \times 3 \times 1 = 24$ 」で24日、そしてカレンダーをみると「野菜の日（8月31日）」の真上に24日があることから8月24日に決まったそうですよ。

夏野菜には、水分が豊富で火照った体を冷やす効果、ビタミン類やミネラル類などの疲労回復効果があり、夏バテ対策にはもってこいです。お気に入りのドレッシングをかけて、夏野菜を積極的に摂って、皆さんも最後まで夏を楽しんでくださいね。

（7B病棟 坂本 紀世乃）



北部病院だより 第182号  
2023年8月1日発行

発行責任者 門倉 光隆（昭和大学横浜市北部病院長）

編集責任者 緒方 浩頭（広報委員会 委員長）

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL：<https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。